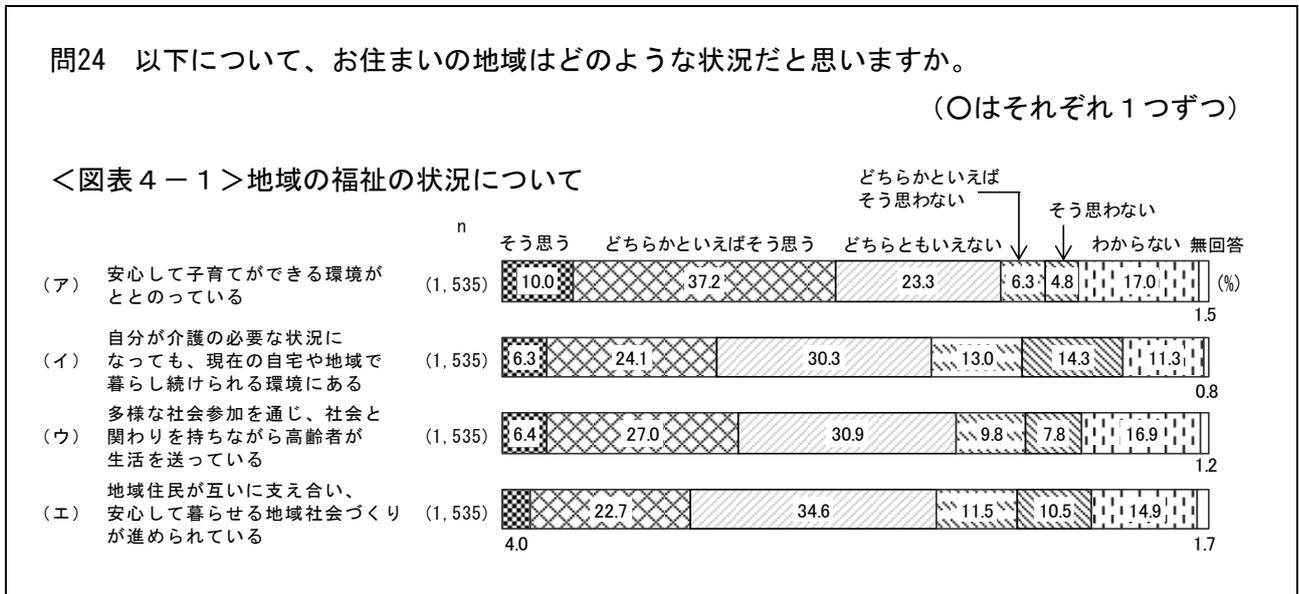


4 福祉について

（1）地域の福祉の状況について

◇『そう思う（計）』が＜安心して子育てができる環境がととのっている＞で約5割

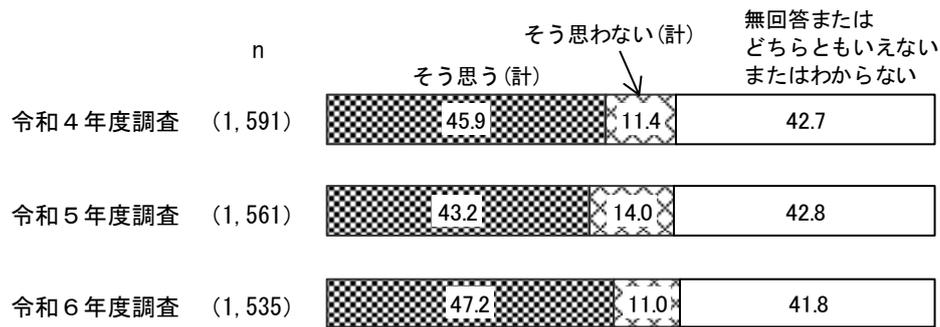


地域の福祉の状況に関する4項目について、お住まいの地域がどのような状況か聞いたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う（計）』は、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」(47.2%)で約5割、「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(33.4%)が3割を超え、「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(30.4%)が3割となっている。

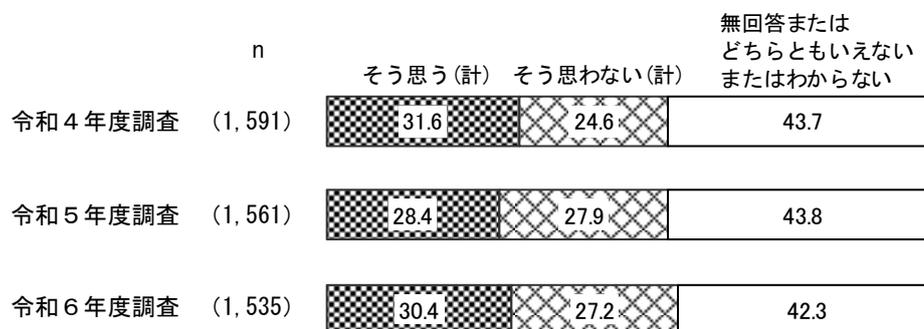
一方、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」を合わせた『そう思わない（計）』は、「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」(27.2%)で約3割となっており、「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」(22.0%)が2割を超え、「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」(17.7%)が約2割となっている。(図表4-1)

〔参考〕令和4年度・5年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

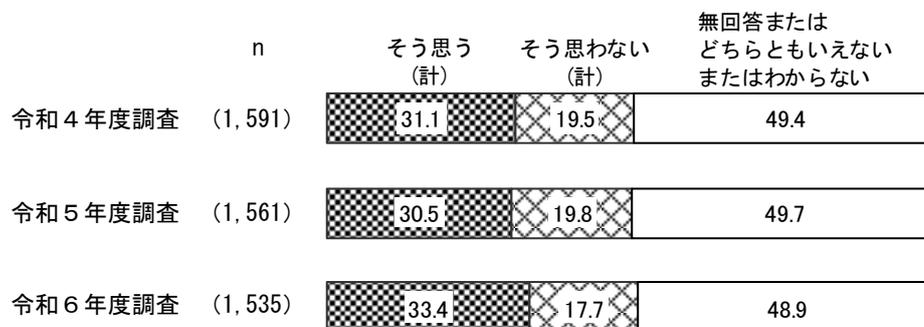
安心して子育てができる環境がととのっている



自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある



多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている



地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている



【地域別】

地域別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思わない(計)』は“長生地域”(23.7%)と“山武地域”(23.5%)が2割台半ば、“海匝地域”(22.2%)が2割を超えて高くなっている。

「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思わない(計)』は“長生地域”(50.0%)が5割、“山武地域”(47.1%)が約5割で高くなっている。

「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」の『そう思わない(計)』は“山武地域”(29.4%)が約3割で高くなっている。

「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思わない(計)』は“山武地域”(35.3%)と“君津地域”(35.2%)が3割台半ばで高くなっている。(図表4-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている」の『そう思う(計)』は女性の50代(56.7%)が5割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は女性の40代(16.1%)が1割台半ばで高くなっている。

「(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある」の『そう思う(計)』は女性の70~74歳(44.6%)が4割台半ばで高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は男性の30代(40.4%)が4割、女性の40代(36.9%)が3割台半ばで高くなっている。

「(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている」の『そう思う(計)』は女性の70~74歳(47.3%)が約5割で高くなっている。

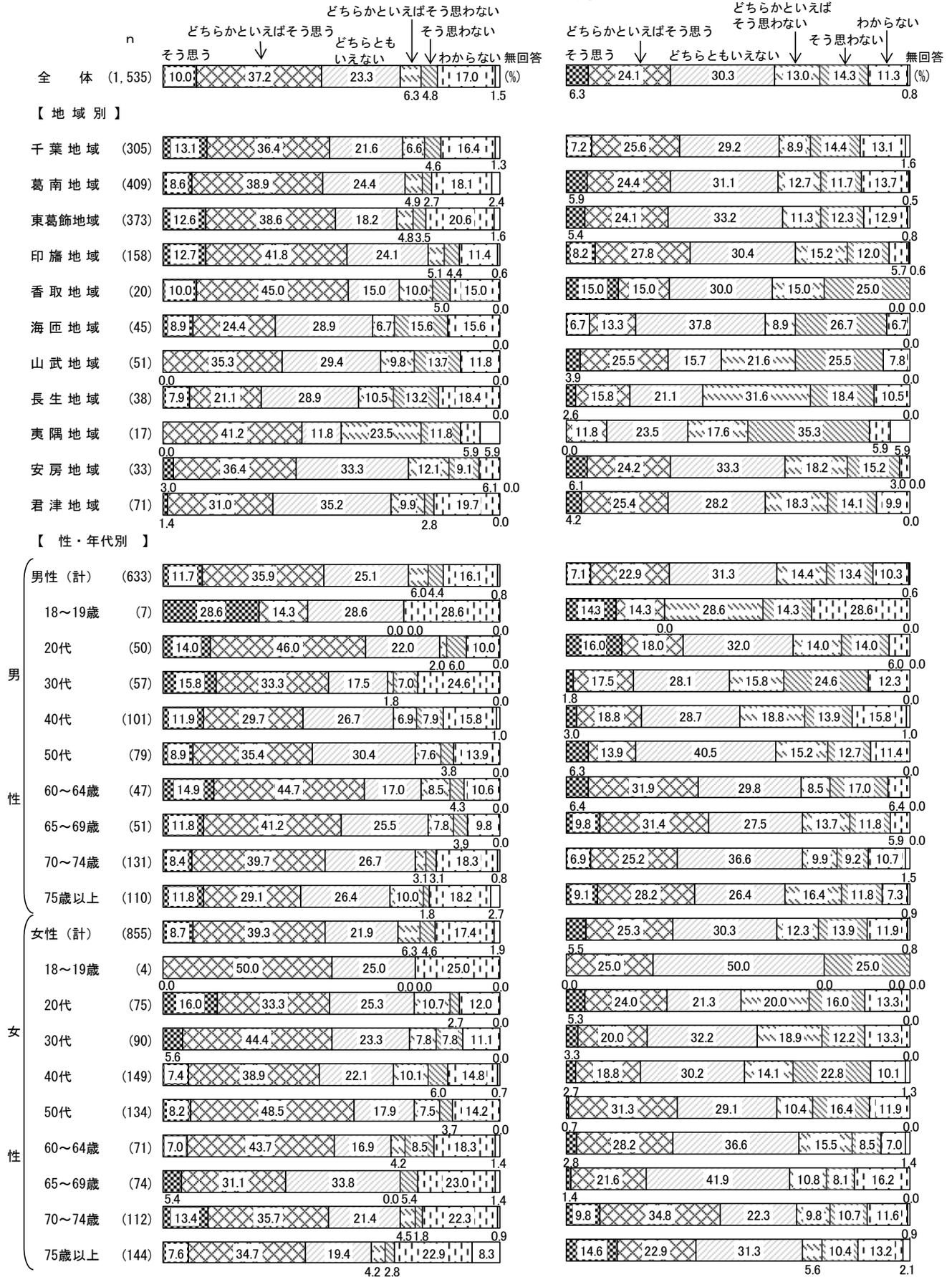
「(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている」の『そう思う(計)』は男性の20代(42.0%)が4割を超え、男性の30代(38.6%)が約4割で高くなっている。

一方、『そう思わない(計)』は男性の40代(30.7%)が3割で高くなっている。(図表4-2)

＜図表4-2＞地域の福祉の状況について／地域別、性・年代別

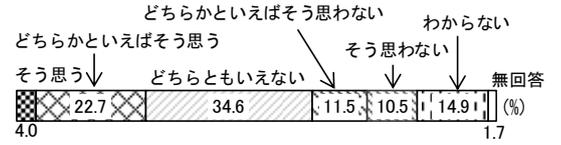
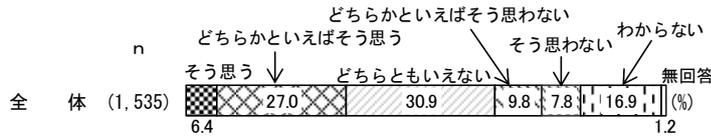
(ア) 安心して子育てができる環境がととのっている

(イ) 自分が介護の必要な状況になっても、現在の自宅や地域で暮らし続けられる環境にある

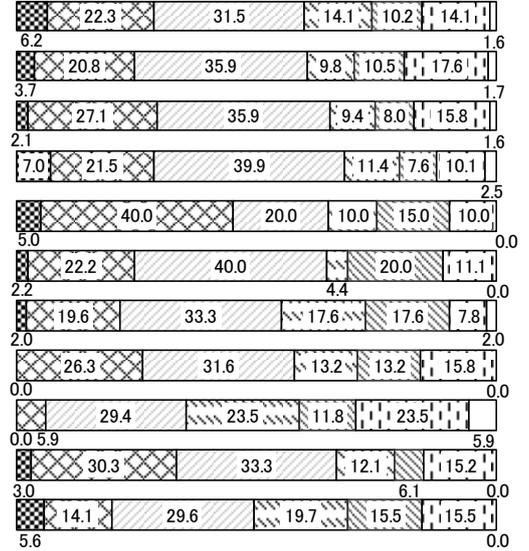
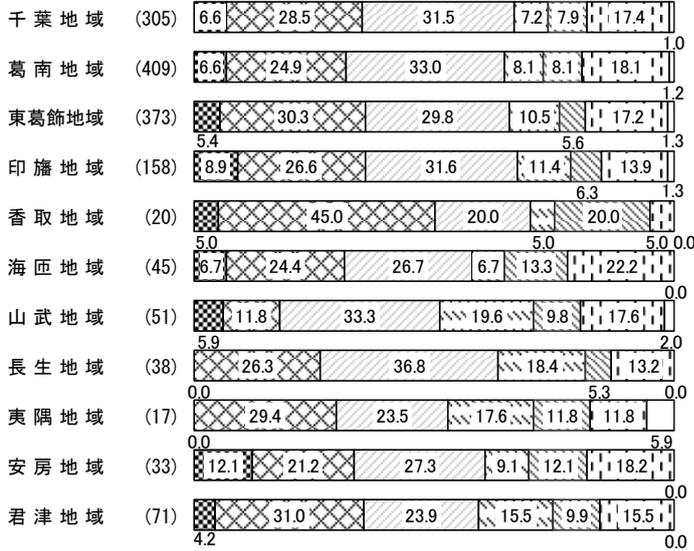


(ウ) 多様な社会参加を通じ、社会と関わりを持ちながら高齢者が生活を送っている

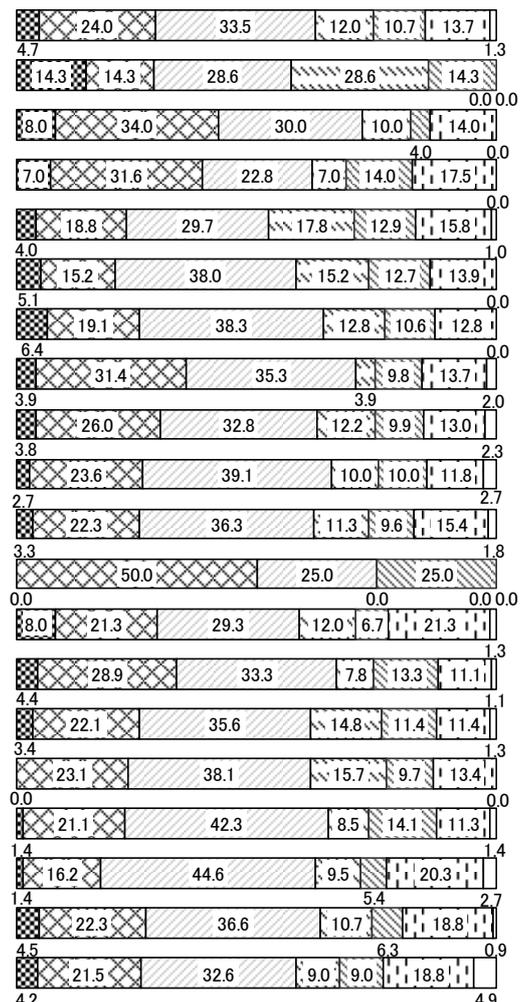
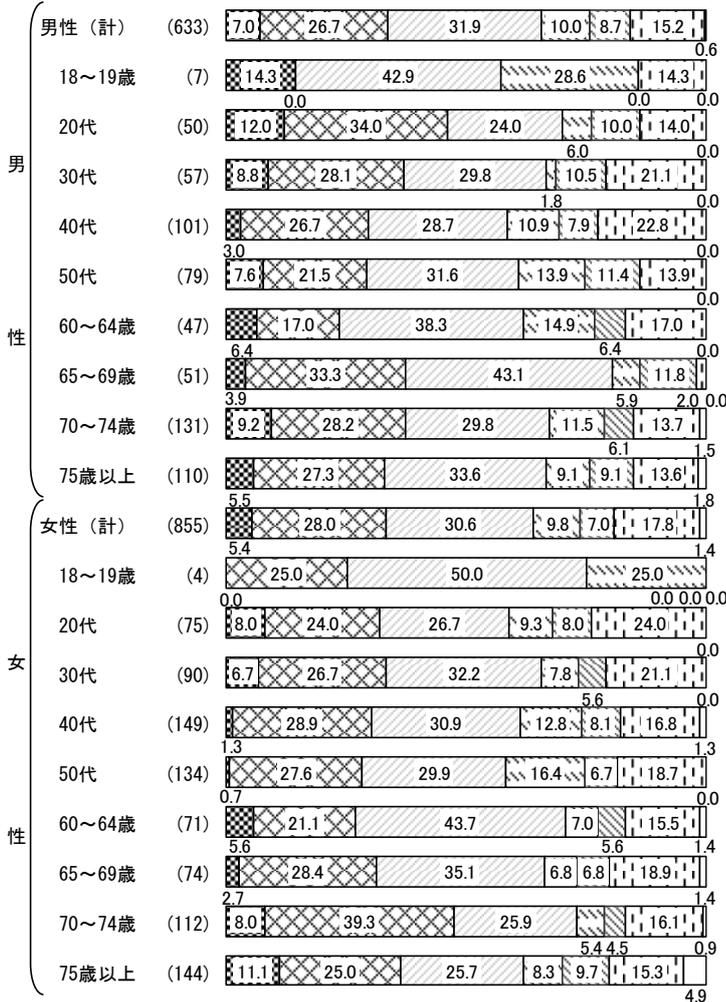
(エ) 地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められている



【地域別】



【性・年代別】

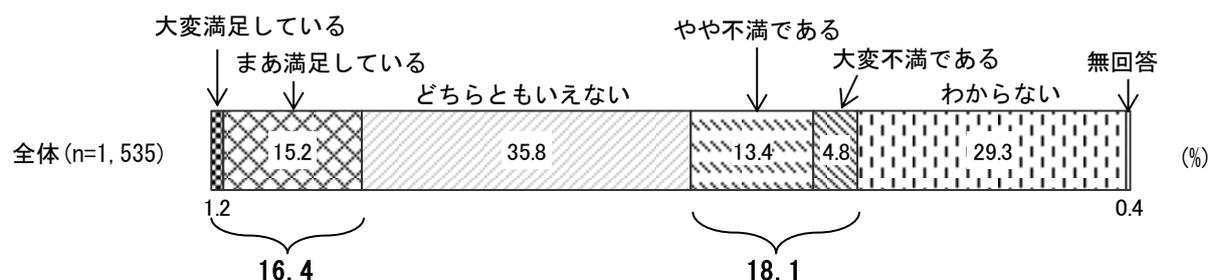


（2）お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

◇『満足している（計）』が1割台半ば

問25 あなたは、県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」についてどうお感じですか。ご自身以外でも、ご家族やご近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。（○は1つ）

＜図表4-3＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について

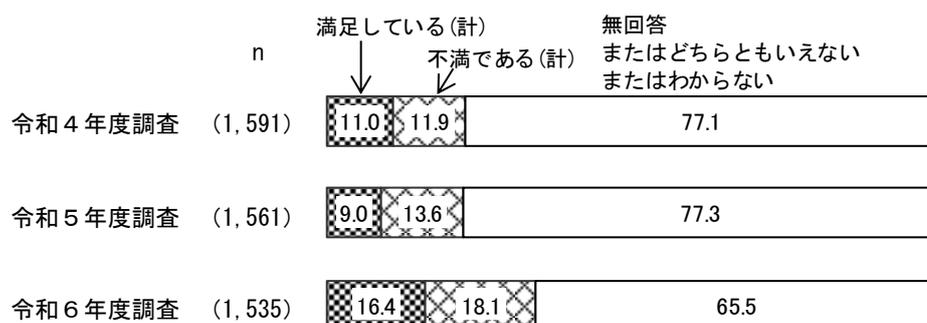


県が進めている「お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策」について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(1.2%)と「まあ満足している」(15.2%)を合わせた『満足している(計)』(16.4%)が1割台半ばとなっている。

一方、「やや不満である」(13.4%)と「大変不満である」(4.8%)を合わせた『不満である(計)』(18.1%)が約2割となっている。

また、「どちらともいえない」(35.8%)が3割台半ばとなっている。(図表4-3)

〔参考〕令和4年度・5年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



※設問文の「ご自身以外でも、ご家族やご近所の方など、身の回り的高齢者を想定してお答えください。」は、令和6年度調査で追加

【地域別】

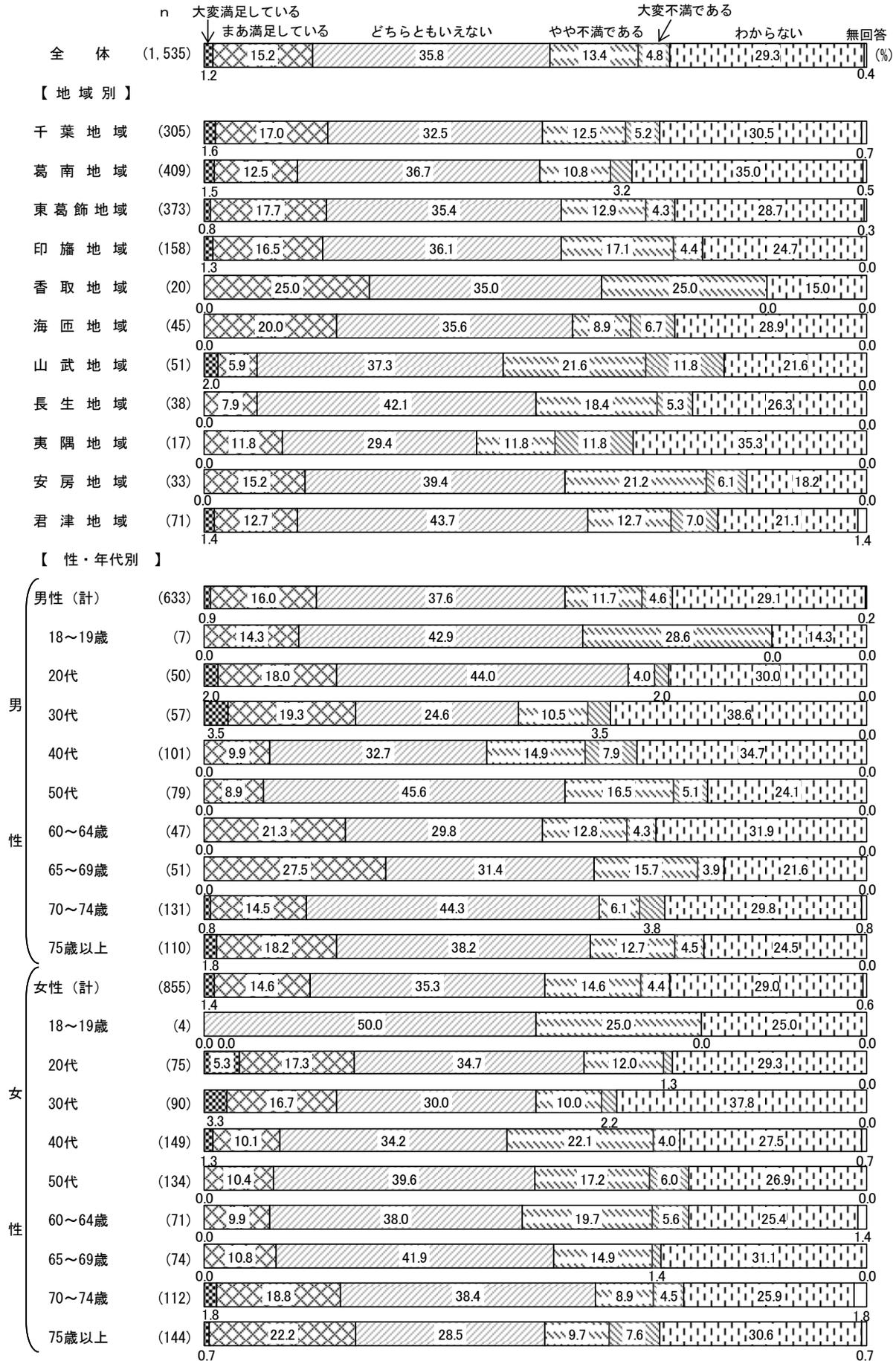
地域別にみると、『不満である(計)』は“山武地域”(33.3%)が3割を超えて高くなっている。(図表4-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している(計)』は男性の65～69歳(27.5%)が約3割、女性の75歳以上(22.9%)が2割を超えて高くなっている。

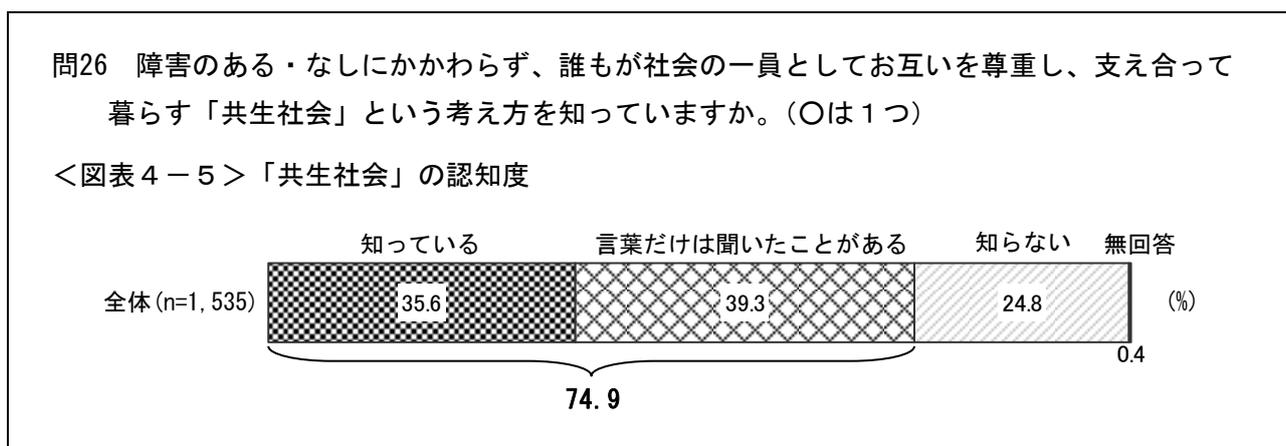
一方、『不満である(計)』は女性の40代(26.2%)が2割台半ばで高くなっている。(図表4-4)

<図表4-4>お年寄りが安心して暮らせる高齢者施策について／地域別、性・年代別



（3）「共生社会」の認知度

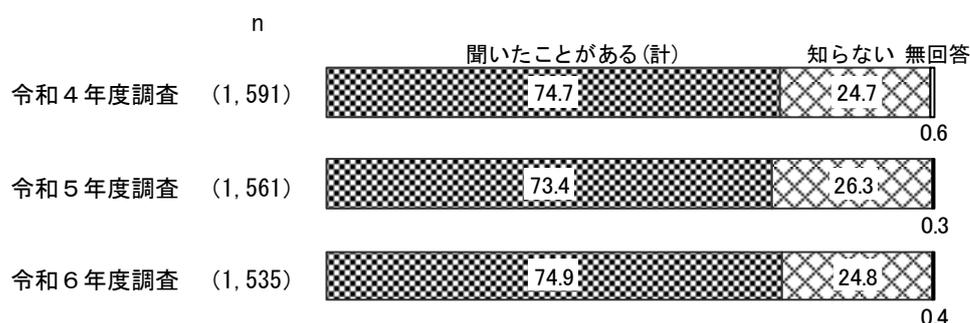
◇『聞いたことがある（計）』が7割台半ば



「共生社会」という考え方を知っているか聞いたところ、「知っている」(35.6%)と「言葉だけは聞いたことがある」(39.3%)を合わせた『聞いたことがある(計)』(74.9%)が7割台半ばとなっている。

一方、「知らない」(24.8%)が2割台半ばとなっている。(図表4-5)

【参考】令和4年度・5年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



【地域別】

地域別にみると、『聞いたことがある(計)』は“東葛飾地域”(79.4%)が約8割で高くなっている。

一方、「知らない」は“海匝地域”(40.0%)が4割で高くなっている。(図表4-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『聞いたことがある(計)』は男性の75歳以上(84.5%)が8割台半ばで高くなっている。

一方、「知らない」は女性の60～64歳(36.6%)が3割台半ばで高くなっている。(図表4-6)

<図表4-6> 「共生社会」の認知度／地域別、性・年代別

